

- 開催日時
2023年6月21日(水)16時00分～17時20分
- 開催場所
経専音楽放送芸術専門学校 会議室
- 出席委員

	選任区分	人数	役職名など
外部関係者	企業関係者	1名	代表取締役
外部関係者	高等学校	1名	
外部関係者	卒業生	1名	
学校側	学校教職員	4名	

- 学校関係者評価委員会 次第
「2022年度学校評価について」討議・意見交換

※評価＝適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(1)教育理念・目標

(1)－①理念・目的・育成人材像は定められているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

学園理念である「学生第一主義」を念頭に置き、一人ひとりの個性を尊重し、学生に寄り添い共に育つという姿勢で現場力3要素(専門職業力・社会人基礎力・高い職業意識と意欲)を徹底育成することで、社会に貢献できる思いを持った人を育成するとしており、これらをカリキュラムなどの教育内容に反映させている。

(1)－②学校における職業教育の特色は何か

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

音楽・放送分野が必要とする人材像に照らし合わせ、業界が必要とする科目の充実を目的に、授業カリキュラムを4期に分けている。また、各期ごとに就職計画を組み、早期から、就職意識の向上を図っている。

(1)－③理念・目的・育成人材像・特色などが学生・業界関係者・保護者等に周知されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

学生には学生便覧を配布し、オリエンテーション等で説明。保護者には入学時に保護者説明用の資料を送付し周知している。又、業界企業には求人依頼を目的としたリーフレットを配布しており、その中で本校の特徴等を記載し周知努力をしている。

- 各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(2)学校運営

(2)－①目的等に沿った運営方針が策定されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

設置法人が定める運営方針に基づき、当該専門学校の方針、目標、組織体制を定めている。運営方針は毎年4月に実施される学園全体会議にて発表し、周知徹底されている。

(2)－②運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

運営組織は、組織規定及び組織図において明示している。教務・就職・入学の各部署は、それぞれの業務計画に基づき業務を遂行し、それぞれの責任体制も明確になっている。

(2)－③人事、給与に関する規定等は整備されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

人事・給与に関する規定等は設置法人の総務財務室で一括整備・管理している。賃金の決定は、成果に応じた人事考課制度により行なわれている。また、採用については、毎年、学校の状況を確認し、状況に応じて実施している。

- 各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(3)教育活動

(3)－①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

業界関係者が委員となっている教育課程編成会議で、指摘・アドバイスされたことを確実にカリキュラムに反映し、常に育成すべき人材像と業界レベルのニーズに照らし合わせ、毎年カリキュラムの見直しを行って

(3)－②授業評価の実施・評価体制はあるか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

卒業年次の学生に対してアンケートを実施し教員のレベルの確認と評価を行なっている。また、評価に対しての分析及び改善策を学校責任者がまとめ上げ、各教員に指導・アドバイスを行っている。

(3)－③成績評価、進級・卒業判定基準は明確になっているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

成績評価及び進級・卒業認定の基準は、学則に規定されている。また、学生に対しては、年1回発行される学生便覧に明記し、周知徹底している。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(4)学修成果

(4)－①就職率の向上が図られているか

自己評価	3	委員会評価	3
------	---	-------	---

就職率を①専門職決定率(学んだ分野への内定者数)②全体決定率(総内定者数)③対象外率(就職を希望しない人数)に分類し、それぞれに目標を設定しながら学生の就職活動を支援している。就職活動対策として、就職関連の授業を入学時より組み込み、履歴書、面接指導などきめ細かい対応を行なっている。

(4)－②資格取得率の向上が図られているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

「陸上特殊無線技士1級・2級」及び「舞台機構調整技能士3級」などの国家資格は、対策授業として通常カリキュラムに導入し、更に特別授業を放課後実施している。

(4)－③退学率の低減が図られているか

自己評価	3	委員会評価	3
------	---	-------	---

前年度の実績を基に、毎年目標を設定しながら退学率低減に取り組んでいる。カリキュラムの工夫、担任及び学年担当制度など組織的・体系的な取り組みがなされている。

●課題

(4)－① 合格率の向上。

(4)－③ 進路変更防止。

●今後の改善方策

(4)－① 増加傾向にある求人情報を学生に対し迅速に情報公開を行う。また、定期的な希望調査の実施により希望職との結び合わせを行う。

(4)－③ 今まで以上に丁寧な授業展開をし、専門職の達成感や遣り甲斐、楽しさを感じてもらう内容にする。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(5)学生支援

(5)－①進路・就職に関する支援体制は整備されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

クラス担任、就職担当者によるダブル支援体制をとっており、全ての学生を専門職に就職させることを目標にしている。また、本校学生のみアクセスできる就職支援サイトを設け、最新求人情報、過去の就職試験内容が閲覧可能となっており、受験企業に即した個別面接指導も実施している。さらに、道外の就職を希望する学生には受験に際して、交通費の一部を支給する道外就職支援制度を取り入れている。

(5)－②学生相談に関する体制は整備されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

クラス担任及び学年担当制を導入して学生からの相談に対応している。また、事務職員を含む全ての教職員が積極的に学生に対して声がけを実施し、担任以外でも気軽に相談できる環境を目指している。

(5)－③卒業生への支援体制はあるか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

主に転職・離職相談と再就職支援を行なっている。就職担当者が中心となり、卒業生の希望や現状をヒアリングし、個別に細やかな対応を実施している。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(6)教育環境

(6)－①施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

即戦力を身につける上で、各現場に即した環境を提供している。学校全体の施設・設備は、専修学校設置基準を満たしている。管理については、講師の協力を得て教員が責任を持って行い、メンテナンスが必要な場合は専門業者に依頼している。また、学生に対して卒業時に実施しているアンケートの中で施設・設備に関する項目を入れ、学生目線からの確認も行なっている。

(6)－②学内外の実習施設等について十分教育体制を整備しているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

学外実習として企業と連携し、イベントの音響・照明・進行などを体験させる機会や劇場見学等を設けている。2年次では就職を目的とする企業研修を随時行っている。

○各評価委員からの意見・指導

中学・高校では既に一人1タブレットを保有しており、今後はそれが当たり前の状況になると思われる。授業や連絡事項においても全てデータで行っていく状況が想定されるため、専門学校においても整備が必要となり、それが学校の評価にも繋がっていくと思う。

(7) 学生の受入れ募集

(7)－①学生募集活動は適正に行なわれているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

北海道私立専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づき、募集開始時期・募集内容等を遵守している。また、募集活動や広報活動で取得した個人情報とは適正に管理し、情報の流出や目的以外の使用には厳正に対処している。

(7)－②学生募集において教育活動は正確に伝えられているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

就職実績等について、数字データに限らず、就職決定先・職種・業務内容をHP・学校案内に掲載し、正確な情報提供を行っている。

(7)－②学生募集において教育活動は正確に伝えられているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

毎年、経費をチェックし学納金の見直しを実施している。その際、他校の学納金とも照らし合わせ適正度を確認している。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(8) 財務

(8)－①予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

予算・収支計画は設置法人の総務財務室で一括整備・管理している。学校から提出された予算書を基にチェック・アドバイスが行なわれ、理事会での承認後、執行されている。

(8)－②財務について会計監査が適正に行なわれているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

私学振興助成法に基づく公認会計士(監査法人)による監査及び私立学校法に基づき、法人寄付行為第34条による監事による監査を実施し、この結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議委員会へ報告している。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

(9) 法令等の遵守

(9)－①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

法令、専修学校設置基準等に従い適正な運営がなされている

(9)－②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

教職員に対しては、就業規則等にも個人情報保護を明記し、各自に「個人情報保護誓約書」を提出させている。また、非常勤講師にも、個人情報の取り扱いについての文章を配布し、各種情報の保護を図っている

(9)－③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

自己評価	4	委員会評価	4
------	---	-------	---

学内で自己点検・評価を行い、評価の低い項目は、次年度に向けて改善に努めている。また、自己点検・評価及び学校関係者評価の公開を行っている。

○各評価委員からの意見・指導
特に意見はありませんでした。

②今後の学校の取り組みについて

各委員からの貴重なご意見、ご要望等を真摯に受け止め、今後本校における課題として、その改善方策を検討し教育体制を強化していきたい。

以上